

「ふるさとの昔話より」

三島かたりべの会

第一話 ふとんと兄弟 頼本 照子

第二話 大野原のきつね 師岡りみ子

第三話 親捨ての村 斉藤 静雄

～ あんたっちと《入れ代わり》をしゃべるべー ～

〔会のプロフィール〕

三島かたりべの会は、三島や近郷に伝わるふるさとの大切な伝承文化の昔話を中心に、いろいろな機会に、多くの人々に語り伝えることを目的とする昔話が大好きなグループです。

昔話は心のふる里です。私たちはこれからも、楽しく昔話を語り伝えて行きますが、新会員を広く募集しています。

〔今までの主な活動〕

※三島市内や伊豆の各地で昔話を聞く会や楽しむ会を開催。

※昔話キャラバンに参加し、県東部や伊豆の小学校を訪問。

※子供会、寿大学、老人会、幼稚園、福祉施設等で活動。



〔下記にご連絡いただければ
昔話をお届けに参ります〕

三島かたりべの会

会長 斉藤 静雄

tel.fax.055-971-3121

今回も…三島弁で語るべえー^{しゃべ}

《入れ代わり》



むかし、ある村の男しが 何んか いいこたあ にゃーかと 荷車をひっちゃびーて
昔、 ある村の男が 何か良いことが ないかと 荷車を引いて

やーんていたら、 貧乏神にでっくわした。
歩いていくと、 貧乏神に出会った。

男しは、「オーイ 貧乏神さーよう どけえ行くだーね」て せえーたら、
男は、「オーイ 貧乏神様 何所へ行くのですか？」と 言ったら、

貧乏神は、「決まってらあな、おみヤッチへ行くべーとしているだあーよ。」と
貧乏神は、「決まってる通り、お前さんの家に行こうと思ってるところだよ。」と

できゃー声で せーたあだ。 男しは びっくりこいて、「よしてくんなあーや！
大声で 言った。 男は 驚いて、 「よして下さいよ！

やくてゃあもにや、 おらっちにきてあーなんて。」と せーただ。
とんでもない、 私の家に 来るなんて。」と 言った。

男しは、とんでもにゃ神さーに出くわしたもんだと、 やっきりこいちまったが、
男は、 とんでもない神さんに出会ったものだと、 本当に腹が立ったが、

家の そばまできたら、 こんだあ福の神さーに出っくわした。
家の近くまで来たら、 今度は 福の神様に出会った。

男しは、 うんとうれしがって 「オーイ 福の神さーよう どけー行くずらかー。」と
男は、 大変喜んで 「オーイ 福の神様 何処へ行くのですか。」と

せーたら、 福の神が 「いま おみゃーはんちから 出て来たばかりだー。」
言うのと、 福の神が 「今 お前さんの家から 出て来たところだー。」

と せーたあと。
と 言ったと。